

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学生技術科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	バイオ英語Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	バイオサイエンス専攻 1年		学期及び曜時限	後期	教室名	402教室
担当教員	富山 昌克	実務経験と その関連資格	メリクロンアーツ(旧・植物組織培養研究所) 代表、富山蘭園・奈良農場 代表。 海外の大学での研究歴があり、植物バイオテクノロジーを用いた花の品種改良や園芸機材・用品 の開発に30年間携わる。TV園芸番組への出演など多数の実績がある。			
《授業科目における学習内容》						
理系バイオ系論文を平易に読める程度の基礎英語力が身につくよう、英語の学び方を指導し、学生に習慣づけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 70% 2. 小テスト: 20% 3. 授業態度: 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書: バイオ英語入門、参考図書: なっとくする基礎科学英語(講談社) 授業参考となる英単語プリントを随時配布。						
《授業外における学習方法》						
各講義にて配布する英単語プリントを次回までに記憶、小テストで習熟度合を毎回確認するため、自宅で小テストに向けた復習を行うこと。						
《履修に当たっての留意点》						
理系のバイオ系論文を辞書なしで平易に読める程度の基礎英語力を身につけてほしい。英単語を詰め込み式に覚えていくため、何度も繰り返し覚えていく習慣を身につけるように、自己研鑽に励んで欲しい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」細胞とは、DNAとRNA (p33-39)を復習する。	
	講義形式	各コマに おける 授業予定	第4章 生化学における英語表現 細胞とは、DNAとRNA (バイオ英語入門 p33-39)			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」酵素反応、エネルギー代謝 (p39-45)を復習する。	
	講義形式	各コマに おける 授業予定	第4章 生化学における英語表現 酵素反応、エネルギー代謝 (バイオ英語入門 p39-45)			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」解糖系とTCA回路、免疫とはなにか (p45-51)を復習する。	
	講義形式	各コマに おける 授業予定	第4章 生化学における英語表現 解糖系とTCA回路、免疫とはなにか (バイオ英語入門 p45-51)			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」神経、ホルモン (p51-56)を復習する。	
	講義形式	各コマに おける 授業予定	第4章 生化学における英語表現 神経、ホルモン (バイオ英語入門 p51-56)			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」微生物の培養 (p57-60)を復習する。	
	講義形式	各コマに おける 授業予定	第5章 細胞工学における英語表現 微生物の培養 (p57-60)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」植物細胞とカルス培養(p60-62)を復習する。
		各コマにおける授業予定	第5章 細胞工学における英語表現 植物細胞とカルス培養 1 (バイオ英語入門 p60-62)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」植物細胞とカルス培養(p60-62)を復習する。
		各コマにおける授業予定	第5章 細胞工学における英語表現 植物細胞とカルス培養 2 (バイオ英語入門 p60-62)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」細胞融合(p62-64)を復習する。
		各コマにおける授業予定	第5章 細胞工学における英語表現 細胞融合 1(バイオ英語入門 p62-64)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」細胞融合(p62-64)を復習する。
		各コマにおける授業予定	第5章 細胞工学における英語表現 細胞融合 2(バイオ英語入門 p62-64)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」モノクローナル抗体(p64-67)を復習する。
		各コマにおける授業予定	第5章 細胞工学における英語表現 モノクローナル抗体(バイオ英語入門 p64-67)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」トランスジェニック生物(p67-68)を復習する。
		各コマにおける授業予定	第5章 細胞工学における英語表現 トランスジェニック生物(バイオ英語入門 p67-68)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」遺伝子の複製と発現 プラスミド(p69-75)を復習する。
		各コマにおける授業予定	第6章 遺伝子工学における英語表現 遺伝子の複製と発現 プラスミド(バイオ英語入門 p69-75)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだバイオ英語の基礎単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	小テストの範囲「バイオ英語入門」制限酵素 DNAの解析技術(p75-80)を復習する。
		各コマにおける授業予定	第6章 遺伝子工学における英語表現 制限酵素 DNAの解析技術(バイオ英語入門 p75-80)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで学んだ英単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	これまでの小テストの範囲「バイオ英語入門」を復習する。
		各コマにおける授業予定	これまで学んだ英単語や英文についての総復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで学んだ英単語や英文について記憶・理解し、意味や訳を答えることができる。	バイオ英語入門	これまで学んだ単語の総復習をする。
		各コマにおける授業予定	総合演習を行い、講義内容の理解度を測る。		